

森野美咲

(ソプラノ)

©Tara Morikawa

©Shirley Suarez

若き新星とレジェンドが紡ぐ、敬虔なる愛の詩
～愛しなさい、愛しうる限り～

Misaki Morino &

— 至高のドイツ歌曲 —

Helmut Deutsch

(ピアノ)

2025年

11月21日(金)19:00開演 18:30開場 21:00終演予定

第一生命ホール 都営地下鉄 大江戸線 「勝どき駅」A2a出口徒歩8分

7:00 p.m., Friday, November 21, 2025 at Daiichi Seimei Hall

SS席¥8,500 S席¥6,500 A席¥4,500 学生¥3,000 [A席 限定30席]

※料金には消費税が含まれています。 ※特別料金については裏面をご覧ください。
※先行販売等で満席になった席種は以降販売されない可能性があります。
※学生席は、社会人学生を除く25歳までの学生が対象です。公演当日、入口または窓口にて学生証を拜見させていただきます。
(学生証がない場合は一般料金との差額を頂戴いたします。)

[お問合せ・お申込]

ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212

www.japanarts.co.jp

◎ チケットぴあ t.pia.jp (Pコード: 293-491) ◎ イープラス eplus.jp

◎ ローソンチケット l-tike.com (Lコード: 31645)

マネジメント: ジャパン・アーツ

PROGRAM

R. シュトラウス:

《最後の葉》より「献呈」「夜」「万霊節」

R. Strauss: 8 Gedichte aus Letzte Blätter, Op. 10 TrV 141 No. 1 Zueignung, No. 3 Die Nacht, No. 8 Allerseelen

《乙女の花》より「矢車菊」「ポピー」「木づた」「睡蓮」

R. Strauss: Mädchenblumen, Op. 22 TrV 153 1 Kornblumen, 2 Mohnblumen, 3 Epheu, 4 Wasserrose

H. ロイター: 《オフィーリアの3つの歌》より

「どうやって本当の恋人を見分けるの?」

「明日は聖バレンタインの日」

「彼らはあの人をむき出しの棺へと運んでいった」

H. Reutter: 'Drei Lieder der Ophelia 1 'Wie erkenn' ich dein Treulich vor den anderen nun? 2 Auf morgen ist Sankt Valentinstag 3 Sie trugen auf der Bahre Bloß

F. リスト: 《愛の夢》より「崇高な愛」

「私は死んでいた」「愛しなさい、愛しうる限り」 他

F. Liszt: "Hohe liebe" S. 307, "Gestorben war ich" S. 308, "O lieb, so lang du lieben kannst" S. 298 andere

ジャパン・アーツ
ぴあ
オンラインチケット
4月12日(土)
10:00~

一般発売
4月19日(土)
10:00~

出光音楽賞受賞、2020年ブラームス国際コンクール声楽部門に日本人初優勝を果たし、
現在もヨーロッパを拠点に躍進を続けるソプラノ、森野美咲。
歌曲ピアニストのレジェンド、ヘルムート・ドイチュを迎えて待望のオール・ドイツ歌曲リサイタル。
歌曲ピアニストの大家と若き才能の織りなす至高の一夜をお楽しみください。

森野美咲は、近年、オペラでの活躍が著しいが、彼女は東京藝術大学卒業後、ウィーン国立音楽大学のリート・オラトリオ科で(後にオペラ科でも)学び、2020年のヨハネス・ブラームス国際コンクールの歌曲部門で優勝するなど、リート(ドイツ語歌曲)にも熱心に取り組んでいる。そんな森野が、リート界のレジェンド、ヘルムート・ドイチュ(1945年、ウィーン生まれ)とともにリサイタルをひらく。ドイチュといえば、往年の名バリトン、ヘルマン・プライの伴奏ピアニストとして名声を博し、ペーター・シュライアーとも共演を重ねた。そして、今もディアナ・ダムラウ、ヨナス・カウフマン、マティアス・ゲルネら現代を代表する歌手たちから絶大な信頼を得ている。

今回、森野がドイチュと披露するリサイタルでは、「花、乙女、愛」をテーマとしたロマンティックなプログラムが組まれている。R.シュトラウスの《最後の葉》より「献呈」と「万霊節」、《乙女の花》、リストの《愛の夢》、そして、20世紀ドイツの作曲家、ヘルマン・ロイター(1900～1985)の《オフィーリアの3つの歌》などなど。森野は2020年のブラームス・コンクールの本選で、「ハムレット」の主人公の恋人オフィーリアの生涯をテーマに、リームとブラームスの作品を歌った。今回も、ストーリーの感じられるステージを繰り広げてくれるだろう。ウィーン在住の気鋭のソプラノ、森野美咲とウィーン出身の名伴奏ピアニスト、ヘルムート・ドイチュとの共演は聴き逃さない。

山田治生(音楽評論家)

Misaki Morino & Helmut Deutsch

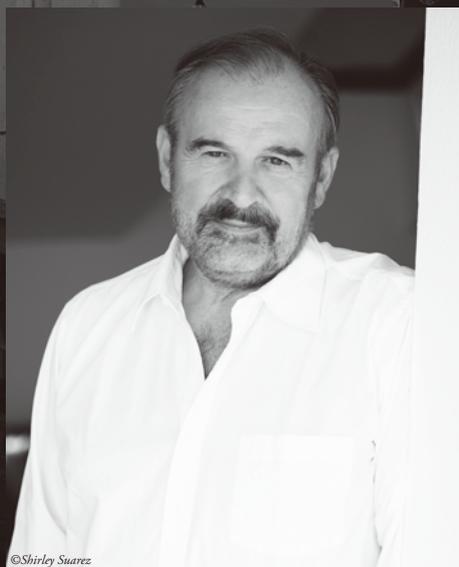


© Yuki Sato

森野美咲(ソプラノ)

Misaki Morino, Soprano

ウィーンを拠点に活躍する新進気鋭のソプラノ歌手。第27回ヨハネス・ブラームス国際コンクール声楽部門及び、第87回日本音楽コンクール声楽部門優勝。2019年ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団夏のアカデミー「偽の女庭師」題名役でオーストリアツアーを成功させ、2021年エトリンゲン音楽祭「こうもり」アデーレ役、2022年バーデン市立劇場「椿姫」題名役の他、近年は現代作品における活躍もめざましく、2023年ジュネーブ大劇場「Electric Dreams」、2021/2022年 ルツェルン劇場「Zolle」、「ベレラ〜煙の男」等、数多くの現代オペラに出演。連作歌曲「はじまり」など作詞活動にも力を入れている。国内では出光音楽賞を受賞の他、NHK交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団等の共演をはじめ、東急ジルベスターコンサート、NHKニューイヤーオペラコンサート、題名のない音楽会、プロ野球オールスター戦開幕式にて国歌独唱を務めるなど活躍の場を広げている。ROOM ミュージック ファンデーション奨学生、文化庁派遣海外研修員。マルセススポーツ・文化賞「文化大賞」、五島記念文化賞オペラ新人賞、岡山県芸術文化賞グランプリ、山陽新聞奨励賞、エネルギー文化・スポーツ財団 エネルギー賞受賞。岡山市出身。岡山城東高等学校、東京藝術大学を経て、ウィーン国立音楽大学修士課程首席修了。



© Shirley Suarez

ヘルムート・ドイチュ(ピアニスト)

Helmut Deutsch, Piano

今代の世界最高峰の歌曲伴奏者として名を馳せるウィーン出身のピアニスト。ヘルマン・プライと共にキャリアをスタートさせ、世界中でリサイタルを成功させた。ヨナス・カウフマン、ディアナ・ダムラウなど現在のオペラ界で世界的に活躍する歌手たちが、ドイチュ氏を大いなる芸術家、そして力強い舞台上のパートナーとしてこぞって共演している。歌曲芸術において、忠実な考察と自らの芸術的なつながりを見出し、知性とユーモアを持って忘れ難い舞台を作り出してきた。これまでのディスク録音では数多くのレコード賞を受賞している。指導者としても、ウィーン国立音大、ミュンヘン音大等で長年教鞭を取り、数々のマスタークラスで後進の指導に当たっている。オフィシャル・ホームページ: <https://helmutdeutsch.at/>

〈特別割引チケットのお知らせ〉

◎車いすの方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。
(ジャパン・アーツぴあコールセンターのみで受付)

(次のことあらかじめご承知の上、チケットをお求めください) ① やむを得ない事情により、出演者・曲順・曲目等が変更になる場合がございます。② 公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③ いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。④ 演奏中は入場できません。⑤ 未就学児の同伴はご遠慮ください。なお、就学児以上の方もご入場には一人1枚チケットが必要です。⑥ 全席指定です。券面に記載された指定のお座席にてご鑑賞下さい。⑦ 場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑧ ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨ 他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。